

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:令和4年度】

(①歴史・文化施設)

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市竹の丸		担当課名	文化・スポーツ振興課	記入者職氏名	主事 古田 桃子	
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市竹の丸条例						
	(2) 施設設置目的	市指定有形文化財竹の丸を保存及び活用するとともに、竹の丸の歴史文化的価値を顕彰し、市民文化の発展に寄与するため。						
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	敷地面積:5,520㎡ 主屋(木造平屋建て・457.29㎡)、離れ(木造2階建て・230.52㎡)、番屋(木造平屋建て34.78㎡)、西土蔵(木造2階建て)、北土蔵(木造2階建て・99.80㎡)、米倉(木造平屋建て・39.75㎡)※面積は延床面積。 貸室…【主屋】茶の間(8畳)・ひろま(12畳)・台所(20.5畳)・ギャラリー(39畳)、【離れ】座敷(15畳)・家人の間(7.5畳)						
	(4) 施設建設年度	主屋…明治36(1903)年						
	(5) 耐震性能の有無	有						
	(6) 将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)							
	(7) 指定管理者名	掛川城管理運営共同体						
	(8) 指定期間	平成26年 4月1日 から 令和6年 3月31日 まで						
	(9) 債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成26年度 ~ 令和5年度) (限度額 18,000 千円)				
	(10) 施設の管理運営形態	②利用料金制度						
	(11) 自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
	(12) その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。				
(13) 事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし							
(14) 利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和 4 年度)					

区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	城・茶室・竹の丸の全体で200,000	城・茶室・竹の丸の全体で120,000	城・茶室・竹の丸の全体で120,000	城・茶室・竹の丸の全体で150,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	13,846	17,321	21,918		
	内訳 (施設・設備ごと)	施設入場者数		9,317	12,529	14,612	
		貸室入場者数(茶の間)		389	243	881	
		貸室入場者数(ひろま)		74	147	761	
		貸室入場者数(台所)		0	24	11	
		貸室入場者数(ギャラリー)		2,419	2,687	5,177	
		貸室入場者数(座敷)		1,206	1,688	417	
		貸室入場者数(家人の間)		441	3	59	
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
(定員 人)		A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
区分		R02実績	R03実績	R04実績	R05当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費						
	(3)運営日数		304	323	365	366	
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	4.0	4.0	4.0	5.0	

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費					H26より、掛川城と茶室と竹の丸を合わせて掛川城へ一括計上
	②印刷費					
	③通信費					
	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)					
	計	0	0	0	0	
対前年度増減率						
区分		R02決算額	R03決算額	R04決算額	R05当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	0	0	0	
	②修繕費					
	③光熱水費					
	④燃料費					
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)					
計	0	0	0	0		
対前年度増減率						
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		0	0	0	0	
(4)合計のうち運営コストの割合						
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		0	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合						

Ⅲ 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	R02決算額	R03決算額	R04決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	100%	3	R3年度3月から竹の丸カフェがオープンし、利用者が増えた。忙しい中でも丁寧にスタッフの方が対応しており、高評価を維持できている。
B サービス内容の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
C 従業員対応の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
D 施設安全対策の満足度	90%以上	99%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
F 施設の利用者数	95,000人	89,698	2	感染症の拡大の影響は引き続きあるが、令和2年度に比べると入館者数が戻りつつある。引き続き感染症対策を徹底しながら、来館を促す取り組みが求められる。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3)収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	天守閣工事の影響により施設利用料収入は減少したが、自主事業等の取り組みで利益を上げている。令和5年度は通常通りの営業に戻るため、感染対策をした上で、来場者が増加する取り組みを実施してもらおう。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	独立採算となって9年目になるが、維持管理体制が問題なくとられている。以後の期間も、独立採算を維持できるように留意する。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

32

／33

V その他自由意見

--